

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 17	中期総合計画主要施策番号		3 - 02	担当課	部・課	衛生部健康づくり支援課		
事業名		精神科救急情報センター整備事業					内線	2643		
							E-mail	kenko@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・在宅の精神障害者の休日・夜間における病状の急変に対応するため、医療相談体制を整備する。 ・症状に応じた適切なアドバイスを行い、効率的かつ円滑な精神科救急医療体制を目指す。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 休日や夜間において、在宅の精神障害者及びその家族が精神医療相談を受けられないことや精神科病院勤務医の退職により、精神科救急医療体制の維持が困難になっていることなどへの対策が求められている。								
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 休日や夜間における精神医療相談を実施している窓口がないことや精神科救急医療においても軽症患者の受診などにより勤務医が疲弊していることに対する精神科病院における医師の確保が十分に行われていない。								
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・休日や夜間において精神医療相談が受けられる相談窓口を設置する必要がある。 ・症状に応じた適切なアドバイスを行い、効率的かつ円滑な精神科救急医療体制を構築する必要がある。								
	事業内容	精神科救急情報センターの設置								
実施期間	H20 ~		根拠法令等	精神保健福祉法第47条						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	精神科救急情報センターを整備し、休日・夜間における精神医療相談を実施する。		精神科救急情報センターを整備し、休日・夜間における精神医療相談を実施し、症状に応じた適切なアドバイスを行う。			H20.9.16県立駒ヶ根病院内に開設。相談員は非常勤看護師6名が交代で当たり3月末までに106件の相談に対応した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円		5,907	5,691	国庫・県単	国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円		5,907		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		4,573	3,878	歳出節別内訳等	給与 3,486 賃金 2,052 需用費 200 共済費 119 役務費 50		
	概 算 人件費	従事する職員数	人		0.20	0.20	(単位: 千円)			
	概算人件費 (C)		千円		1,430	1,430				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円		7,337	7,121					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	精神医療相談		件		106	180	開設時間 平日夜間 17:00 ~ 22:00 土日祝日 9:00 ~ 17:00 (年末年始)			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	相談後フォローが必要な者に対しては、精神保健福祉センターと連携を図る。 緊急に医療が必要な相談者について、かかりつけ医との連絡体制を整える必要がある。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
課題の総括		精神科外来を有する病院、診療所の休日、夜間の連絡先の登録を進めることにより、かかりつけ医のある相談者について、センターからかかりつけ医に連絡をとり、当番病院へ患者情報を提供する医療連携体制を構築する必要がある。								